

令和元年度 日本薬剤師会学校薬剤師部会
学校環境衛生検査技術講習会

田村 有基
河田 尚己（報告者）

日時：2019年8月24日（土）13：00～17：50
25日（日） 9：30～15：00

場所：横浜薬科大学（横浜市戸塚区俣野601）

24日（土）

1、開会の挨拶（12：30～13：05）日本薬剤師会学校薬剤師部会副部長

乾 英夫

地域の学校薬剤師活動の指導者としてしっかり学んでいただきたい

2、＜講義1＞「空気検査の変更点」（13：05～13：45）

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課・健康教育調査官

小出彰宏

教室内の温度の基準 17℃以上28℃以下であることが望ましい

温度、相対湿度は0.5度目盛を用いて測定する

気流0.2m/秒以上を測定できるもの

浮遊粉塵検査は著しく基準値を下回る場合は次回から検査を省略できる

CO、NO₂の検査は長期間暖房する教室等や給湯器等が置かれた職員室等である

揮発性有機物質の空気採取は午後2時～3時頃が望ましい、30分間、2回採取

3、＜講義2＞「学校の全面冷房化と空気環境」（14：25～14：35）

日本薬剤師会学校薬剤師会幹事 木全勝彦

空気検査に必要な機器の説明と換気回数の計算、ATP拭き取り検査の仕方について

4、＜実習＞空気検査実習（14：35～16：35）

実際の機器（検知器、アスマン通風乾湿計、微風速計、粉塵計）を使って、

CO₂、CO、NO₂、HCHO、換気、温度、相対湿度、浮遊粉塵、気流、換気回数を調べた

5、SGD（スモールグループディスカッション）の進め方について

日本薬剤師会学校薬剤師会幹事 富永孝治

6、SGD（16：50～17：50）

8グループに分かれてディスカッション

テーマ：「学校薬剤師活動の問題点について」

25日(日)

7、<講義3>「学校給食の衛生管理について」(9:30~10:25)

調理室見学の際の着眼ポイントの説明を含む

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課・学校給食調査官 齊藤るみ
学校給食衛生管理基準に従った定期及び日常の衛生検査についての説明があった

8、調理室の見学(10:25~12:30)

第1票~第8票のチェックの仕方を実際の調理室を使って確認した
ATP拭き取り検査の体験をした

9、発表・全体討論(13:10~14:30)

発表5分×8グループ(40分)+総合討論(40分)

主に、検査機器の確保、機器の適正使用方法、人材確保、人材育成、的確な指導助言、
学校薬剤師の認知度の向上等がキーワードとして挙げられた

10、総括(14:30~14:55)

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課・健康教育調査官 小出彰宏

日本薬剤師会学校薬剤師部会部会長 村松章伊

各県のリーダー的存在として衛生検査技術講習会の伝達講習会を行ってほしい
学校薬剤師の存在意義をしっかりと認識し学校環境衛生基準に従った顔の見える学
校薬剤師として楽しく活動していただきたい

11、閉会の挨拶(14:55~15:00)

日本薬剤師会副会長 乾 英夫